

令和 4 年度 学校評価シート

学校名： 和歌山県立 向陽高等学校 校長名： 前田 成 穂

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・確かな学力と豊かな人間性を身につけ、自己の進路目標を実現し、将来社会に貢献できる人材の育成
- ・何事においてもひたむきに取り組み、創造的・主体的で自由闊達に活動し、社会で活躍できる知識・技能を有する生徒の育成
- ・国際感覚や多様性を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

学校評価の公表方法

ホームページへの掲載
P T A 役員会等での説明
学校運営協議会での説明・協議

現状・進捗度

A	十分に達成している。	(80%以上)
B	概ね達成している。	(60%以上)
C	あまり十分でない。	(40%以上)
D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（2月24日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	新しい時代に必要となる資質・能力の向上に向けて、三つの柱（①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性）を軸にして主体的で自律的な学習習慣を形成する。	B	学習習慣を身につけるため ・向陽手帳等を用いた学習計画の確立 ・週例テストの実施	家庭学習時間等の増加 (週14時間以上)	B	手帳等を活用し、学習計画を立てるとともに、日々の学習の記録に取り組み、学習時間の向上につながっている。	今後も、手帳、スタディサプリの活用、学習の記録により、学習を客観的に認知し、学びを自ら組み立てることをめざす。 全校体制で授業研究を行い、ルーブリックの活用、探究型授業を目指す。
			・研究授業等の計画的な実施	研究授業等の実施 (年2回、全教科)	A	研究授業・協議を、年2回実施した。	
			・新評価システムや評価内容等の検証	教科主任ヒアリングの実施 (年2回)	A	ヒアリングや教科間交流会により、評価方法を検証した。	
2	いじめを許さない学校づくりに取り組み、人権尊重の態度や人間関係形成能力、自尊感情、TPOに応じた判断力を育成するため、個に応じた生徒指導を充実する。	C	・特別活動の充実 ・個別の生徒指導の重視	LHRの充実と定期的な面談の実施(年3回)	B	個別の面談での生徒指導と充実したLHRを実施した。	進路指導部を中心として、進路アセンブリーを強化するとともに、面談も重視し、客観的な自己理解、キャリア形成を確実なものとする。
			・自己のキャリア形成にかかる進路指導等の充実	進路指導に関する現職教育や検討会の充実	B	現職教育と学年ごとの模試結果等より検討会を行った。	
			・個人面談や保護者説明会等の計画的な実施	進路説明会等の実施および内容の充実	B	保護者対象の説明会（オンデマンド）、面談を実施した。	
3	全校で課題研究を円滑に実施し、確かな学力へとつなげる。	B	・課題研究の内容及び取組が、調べ学習にとどまっていないかの検証	課題研究等の成果発表会の実施及び研究内容のチェックの強化	A	中間発表を行い、2月実施の成果発表会は全学年が発表、交流をした。	SSH第4期指定(令和5年度)の計画をもとに、向陽みらい創造委員会を中心として探究活動、探究型授業の研究開発を進め、全校体制とする。
			・授業における対話やグループ学習の積極的な活用	対話型やグループ学習型授業の実施	B	多くの授業で、対話型の探究活動を取り入れている。	
4	高度情報化社会で活躍できる人材を育成するため、ICT教育を充実させる。	B	・ICTで使用するアプリケーションの充実と共有化	1人1台端末でのアプリの活用と充実	A	ICTを活用した授業を行い、HP掲載など普及に努めた。	今後も、ICT推進委員会を中心に活用方法を校内で共有し、校内LANのWIFI環境に応じた一人一台端末の活用方法を研究し、活用していく。
			・ICT教育に関する現職教育の実施	現職教育の実施 (年1回)	A	ICT推進委員会より、現職教育を行った。	
			・ICT推進委員会を中心とした機器活用の啓発	ICT活用教材の作成と運用方法の共有化	B	Teamsを活用し、教材の共有化を行っている。	

学校関係者評価（2月24日実施）

- ・学校運営協議会において、学校評価アンケートをもとに協議した。
- ・SSH成果発表会での全校体制で発表・交流を行っている課題探究活動など高い評価をいただいた。
- また、新型コロナウイルスによる制限もWITHコロナの状況になってきており、今後も状況を検討し、さまざまな活動が活発になることと思います。
- ・アンケート結果から、例年同様、多くの生徒が学校生活に「入学して良かった」「学校生活は充実している」と結果が出ている。今年度から「70分授業、5限」から「50分、7限」に授業時間の変更もスムーズに取り組めたようである。
- 進路指導においても、国公立大学への進学や難関私立大学への進学など、今後も重点的に取り組んでほしい。